The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	文献紹介　20世紀中国政治
Author(s)	
Citation	OUFCブックレット. 2017, 11, p. 9-15
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/60501
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

20 世紀中国政治

■ 資料集 ■

【新編　原典中国近代思想史】

7 巻，野村浩一，近藤邦康，並木頼寿，坂元ひろ子，砂山幸雄，村田雄二郎編，岩波書店，2010-2011 年。旧編の『原典中国近代思想史』を大幅に改訂・増補。旧編では原典 200 篇ほどを収録したのに対し，新編ではそのうち 100 篇ほどの原典を修正・改訳・補訂しつつ再掲し，さらに原典を増補し総計 300 篇ほどを収録する。また，アヘン戦争から中華人民共和国成立までを資料選定の期間とする旧編に対し，新編では 18 世紀末の乾隆末期を起点とし，中華人民共和国が社会主義路線を明確にする 1953 年までを扱う。第 1 巻（開国と社会変容），第 2 巻（万国公法の時代），第 3 巻（民族と国家），第 4 巻（世界大戦と国民形成），第 5 巻（国家建設と民族自救），第 6 巻（救国と民主），第 7 巻（世界冷戦のなかの選択）から構成されている。

【原典中国近代思想史】

6 冊，西順蔵編，岩波書店，1976-1977 年。アヘン戦争から中華人民共和国にいたる時期の中国近代思想の諸潮流を「原典」によって再構成したもの。各巻の内容はつぎのとおり。第 1 冊（アヘン戦争から太平天国まで），第 2 冊（洋務運動と変法運動），第 3 冊（辛亥革命），第 4 冊（五四運動から国民革命まで），第 5 冊（毛沢東思想の形成と発展），第 6 冊（国共分裂から解放戦争まで）。

【ドキュメンタリー中国近代史】

横山英編訳，亜紀書房，1973 年，357 頁。1840 年から 1927 年までの中国近代史に関する基本資料 68 点の邦訳。

【日中国交文献集】

竹内実＋21 世紀中国総研編，町田：蒼蒼社，2005 年。1871 年の日清修好条規から対華 21 か条要求，日中戦争，日華平和条約，日中国交正常化を経て 2004 年の小泉総理・胡錦濤主席会談に至る，日中間の戦争や外交交渉に関わる主要な文献を収録し，注釈と解説を付す。竹内実編『日中国交基本文献集』（蒼蒼社，1993 年，上下 2 巻）の増補改訂版。構成は以下の通り。1 日清修好条規と台湾出兵　2 日清戦争　3 義和団事変　4 日露戦争　5 対華二十一カ条要求　6 ワシントン会議―山東返還 7 満洲事変と満州国建国 8 日中戦争　9 大東亜戦争　10 敗戦　11 日華平和条約　12 日中国交正常化　13 日中平和友好条約　14 日中関係四原則　15 天皇訪中　16 歴史認識。［土田］

【世界史史料】

岩波書店，歴史学研究会編。12 冊。歴史学研究会が編集し，2006 年から刊行をはじめ 7 年をかけて完成させた。重要な世界史に関する史料をバランス良く収録し，訳注や解題も有益である。中国近現代史に関する史料そのものは少ないが，当該の文献が，いかなる国際的な環境のなかで書かれたのかを具体的に理解することは，ときに極めて重要な意味をもつ。なお特に関連するのは第 8 巻から第 11 巻で，タイトルは以下のとおり。『帝国主義と各地の抵抗Ⅰ』,『帝国主義と各地の抵抗Ⅱ』,『20 世紀の世界Ⅰ：ふたつの世界大戦』『20 世紀の世界Ⅱ：第 2 次世界大戦後　冷戦と開発』［水羽］

*　　*　　*

【民国叢書】

上海書店が 1989 年から出版をはじめ，1912～1949 年に公刊された書籍を第 1 編から第 5 編までにまとめた。1,000 種類以上の著作が収められており，

次の 11 に大分類されている。①哲学・宗教，②社会科学総論，③政治・法律・軍事，④経済，⑤文化・教育・体育，⑥言語・文字，⑦文学，⑧美術・芸術，⑨歴史・地理，⑩科学技術史，⑪総合。収録されているすべてのタイトルは，http://www.aisixiang.com/data/47537.html などでも確認できる。直接，政治史に関連しないものも多いが，影印本であるためテキストクリティークには便利である。なお 2012 年からは『民国叢書続編』第 1 編として，年鑑専輯（全 100 冊）が公刊された。［水羽］

【文史資料について】

中国人民政治協商会議全国委員会文史資料研究委員会編『文史資料選輯』，中華書局，第 1 輯（1960.1）～153 輯（2009.3）。1959 年以降，政治協商会議文史資料研究委員会で収集した非中共系人士の回想，各種文献，関係資料を編纂し，刊行したもの。全国政協刊行のものの他，各省市県等の政協文史資料委員会においても各種の文史資料が編纂・刊行されている。創刊から 1980 年代後半までは「内部発行」で利用は困難だったが，その後多くが公開化され，また『文史資料選輯』第 1-100 輯合訂版（中国文史出版社，1986 年 12 月）など，既刊・未刊の文史資料をまとめた大部のセットも公開で刊行されるようになり，今日では利用は容易である．このようなセット類として，以下のものがある。

全国政協文史資料委員会編『文史資料存稿選編』中国文史出版社，2002 年，26 冊。全国政治協商会議文史資料委員会所蔵の文稿約 4000 篇を分類，収録。内容は，1,2 晩清・北洋（上下），3 東征北伐，4 十年内戦，5 西安事変，6,7 抗日戦争（上下），8 日偽政権，9-11 全面内戦（上中下），12 政府，政党，13,14 特工組織（上下），15,16 軍事機構（上下），17,18 軍事派系（上下），19,20 軍政人物（上下），21,22 経済（上下），23 文化，24 教育，25 社会，26 目録匯編。 本書簡略版として同編『文史資料存稿選編精選』（出版社同，2006 年，10 冊）もある。

全国政治協商会議文史資料委員会編『中華文史資料文庫』中国文史出版社，1996 年，20 巻。第 1 巻：晩清残局・辛亥革命・北洋軍閥統治，第 2 巻：五四運動・北伐戦争，第 3 巻：十年内戦，第 4,5 巻：八年抗戦，第 6,7 巻：三年内戦，第 8 巻：党派・社団・軍警憲特及其他，第 9-11 巻：軍政人物編，第 12 巻：工業，第 13 巻：商業・交通・郵電・旅游・其他，第 14 巻：金融財政・洋行買辦及其他，第 15 巻：文学藝術，第 16 巻：社会科学・科学技術・医薬衛生・体育運動，第 17 巻：教育，第 18 巻：民族宗教，第 19,20 巻：社会民情編。

目録としては，以下 2 種をあげておく。復旦大学歴史系資料室編『五十二種文史資料篇目分類索引：創刊号-1981』復旦大学出版社，1982 年。李永璞主編『全国各級政協文史資料篇目索引(1960-1990)』中国文史出版社,1992 年，5 冊。［土田］

【中国現代思想史資料簡編】

主編の蔡尚思は 1905 年生まれ。1932 年代前半には宋慶齢や魯迅らが組織した民権保障同盟に参加している。その他の編者には，朱維錚，李華興，姜義華がいる。浙江人民出版社，1982～1983 年。時系列に構成され，第 1 巻(1915 年 9 月-1921 年 6 月)，第 2 巻(1921 年 7 月-1927 年 7 月)，第 3 巻(1927 年 7 月-1937 年 6 月)，第 3 巻(1927 年 7 月-1937 年 7 月)，第 4 巻(1937 年 7 月-1945 年 8 月)，第 5 巻(1945 年 9 月-1949 年 9 月)である。毛沢東など共産党の幹部の著作は収録されていないが，陳独秀や李大釗だけでなく，孫文や蔣介石の議論も収録されており，施復亮や費孝通など第三勢力の言論にも目配りされている。［水羽］

【中国近代思想家文庫】

人民大学出版社から 2013 年より公刊。110 名をこえる人物がリストアップされている。戴逸を主編とし，副主編には王俊義・耿雲志をあて，「総序」では進化論，民族主義，広義の社会主義，自由主義に着目し，ラディカリズ

ムとコンサーヴァティズム，革命と改良の絡み合いを近現代中国の思潮史と位置づけている。共産党の指導者を除く政治思想家の言説を広く蒐集し，中国の政治思想史の全体像が理解できるように工夫されており，各巻の編者による「導論」も有益である。これまであまり注目されなかった第三勢力の政治思想家の例をあげると，丁文江（宋広波，以下（）内は編者），張君勱（翁賀凱），陶希聖（陳峰），銭端升（孫宏雲），雷海宗・林同済（江沛），賀麟（高全喜）らの著作が網羅されている。［水羽］

【中国近代史資料叢刊】

中国史学会主編，上海人民出版社出版。中華人民共和国建国後，近代史研究の再建をめざして編纂された資料集。内容は下記の通り。鴉片戦争（6 冊，1957），第二次鴉片戦争（6 冊，1978-9），太平天国（6 冊，1952），捻軍（6 冊，1953），回民起義（4 冊，1953），洋務運動（8 冊，1961），中法戦争（7 冊，1957），中日戦争（7 冊，1957），戊戌変法（4 冊，1953），義和団（4 冊，1951），辛亥革命（8 冊，1957）。

【中国近代史資料匯編】

20 巻 64 冊，中央研究院近代史研究所編，1957-2000 年。清末から民国前期の日中関係（1912-1927 年，18 冊）・中ソ関係（1917-1921 年，12 冊）・中米関係（嘉慶帝～光緒帝期，7 冊）などにかかわる外交文書を主題別に整理した史料集。

【中華民国史檔案資料匯編】

5 輯，中国第二歴史檔案館編，江蘇古籍出版社，1979-2000 年。「辛亥革命」，「南京臨時政府」，「北洋政府」（17 冊），「従広州軍政府至武漢国民政府」（2 冊），「南京国民政府」（3 編 70 冊）の全 5 輯からなる。中華民国期の各時期の政府文書資料を，政治・外交・軍事・財政経済・教育・文化などの分野別に整理した膨大な史料集である。

■ 著作集など ■

【梁啓超年譜長編】

5 冊，丁文江・趙豊田編（島田虔次編訳），1984 年，岩波書店（底本は，1983 年，上海人民出版社）。20 世紀中国を代表する知識人・梁啓超（1873～1929）の年譜を日本語訳するとともに詳細な訳注を付す。［田中］

■ 定期刊行物 ■

【満鉄調査時報】

満鉄調査課，1919 年 12 月～1944 年 12 月。誌名は『調査時報』（～1930 年 1 月），『満蒙事情』（1930 年 2 月～1931 年 8 月），『満鉄調査月報』（1931 年 9 月～1944 年 12 月）と変遷。編集・発行元も，時期により満鉄総務部調査課，調査部，調査局，満鉄経済調査会などと変わる。満洲を中心とする中国の経済，社会等の調査・研究報告，資料，時事解説などを収録。原本のほか，マイクロフィルム版（雄松堂書店販売）とリプリント版（不二出版，1988 年）があり，『『満鉄調査時報』総目次・索引』（不二出版，1986 年。『満蒙事情』も含む），『『満鉄調査月報』総目次・索引』（不二出版，1987 年）も出ている。［土田］

*　　*　　*

【申報】

近代中国の最初で最も歴史のある新聞紙。1872 年にイギリス人 F.メージャーが上海で創刊（後に中国人が経営），1949 年 5 月に廃刊された。その発行期間や影響力から，中国近代史の代表的な新聞の一つとされる。

【大公報】

中国近現代史に広範な影響を与えた代表的な民営の新聞。1902 年天津で創刊（1925 年停刊，翌年再興）。抗日戦争時期に新聞社は南に移り，上海，漢口，香港，桂林，重慶版などを次々に発行した。建国後，1953 年から本社

を上海から天津に移し，全国向けの「大公報」を発行，1956 年 10 月にはさらに北京に移った。1966 年 9 月文化大革命のため停刊，64 年の歴史を閉じた。なお香港「大公報」は 1948 年復刊後，継続して発行され，代表的な親中派の華字紙として知られる。［岩波現代中国事典］

【中華民国期の政府公報】

民国期の法令類や政府部内における会議の記録は，各政府機関別に発行された「政府公報」（1912-1928 年），「国民政府公報」（1925-1948 年），「総統府公報」（1948 年から現在），「行政院公報」，「立法院公報」などの公報類に掲載されている（閲覧・検索は，ウェブサイト「台湾」の「政府公報資訊網」を参照）。